

# ICTビジョンの策定に向けて

2008年10月

総務省

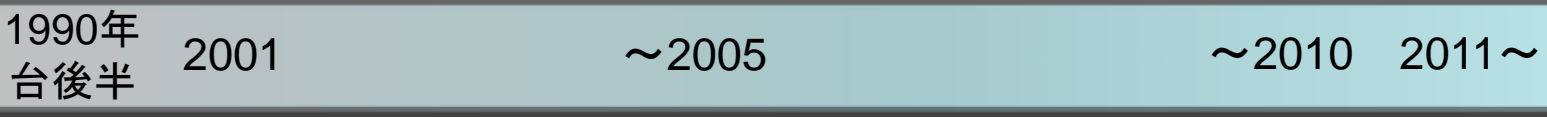
情報通信国際戦略局

## 開催目的

完全デジタル時代を迎える2011年以降を展望し、今後のICT市場の構造変化、ICT技術のトレンド、利用者ニーズの動向等について展望し、**2015年頃を展望した総合的なICT政策の方向性(ビジョン)を描く**ことを目的とする。

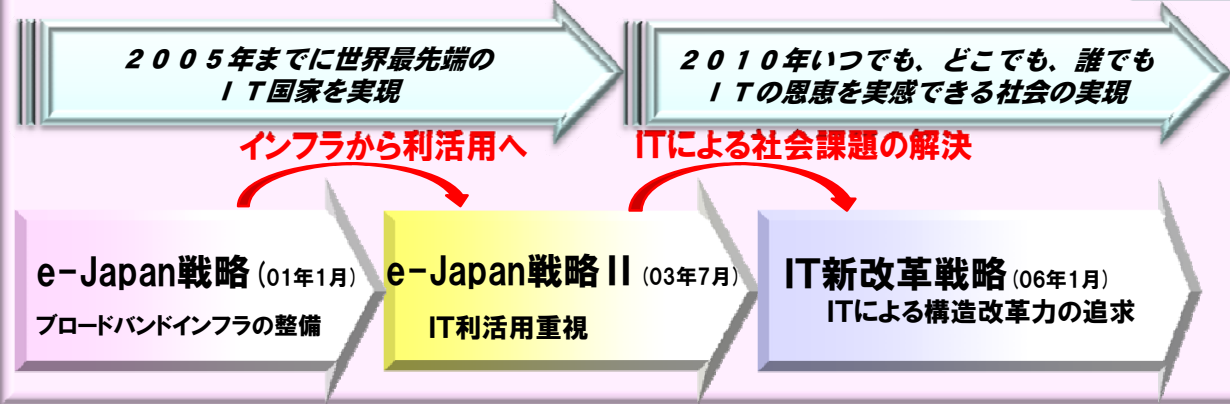
## 検討事項

- (1) ICT市場の構造変化、ICT技術のトレンド、利用者ニーズの動向等についての分析を踏まえた、2015年頃までを視野に入れたICT関連市場の中期的な展望  
(☞ **市場構造の将来展望**)
- (2) 我が国を取り巻く諸課題へ対処するためのICT利活用、ICT産業の活性化、グローバル市場における我が国ICT産業のプレゼンスの向上等の観点から見た、我が国として取り組むべき課題の抽出(☞ **政策課題の包括的な整理**)
- (3) 上記(1)及び(2)を踏まえ、2015年頃を展望した総合的なICT政策の方向性  
(☞ **中期的な政策展開のキーコンセプトや政策ロードマップの提示**)



米国「ニューエコノミー」による経済成長（我が国の立ち遅れ）

## 政府全体（IT戦略本部）の施策



放送デジタル化の完了 (2011年)  
ブロードバンド基盤の全国整備 (2010年度末)  
年代を越えたネット利用の普及  
ユビキタスネット社会の進展

2011年以降の  
新たな戦略づくり  
(未定)

貢献

## 総務省の施策



- 【主な政策】
- 通信・放送分野の改革に関する工程プログラム (06年9月)
  - ICT国際競争力強化プログラム (07年5月策定、08年7月改定)
  - ICT成長力強化プラン (08年5月)

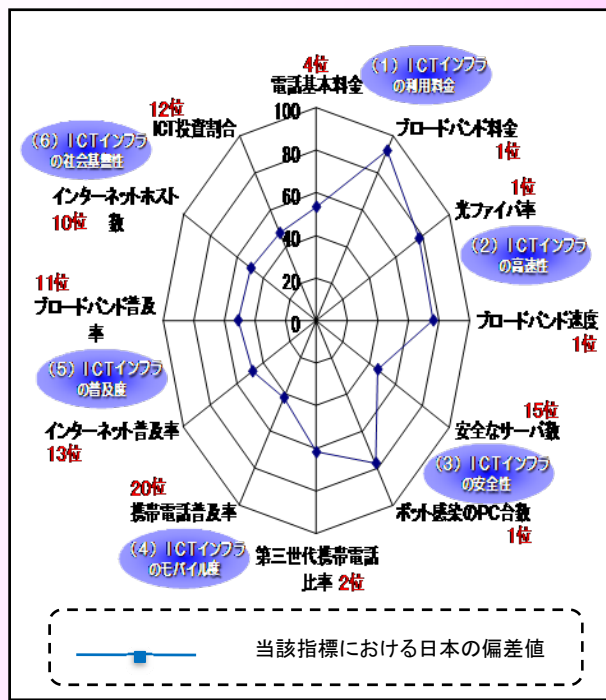
ICTビジョン懇談会  
ビジョン及び政策の方向性 (2015年頃までを視野) について議論

# 日本のICTに関する現状評価

## 基盤は最先端クラス

✓ブロードバンド・サービスエリアの世帯カバー率(推計)は全体の98%であり、インフラ整備についての総合評価は世界トップクラス。

ICT基盤の評価に関する日本のレーダチャート

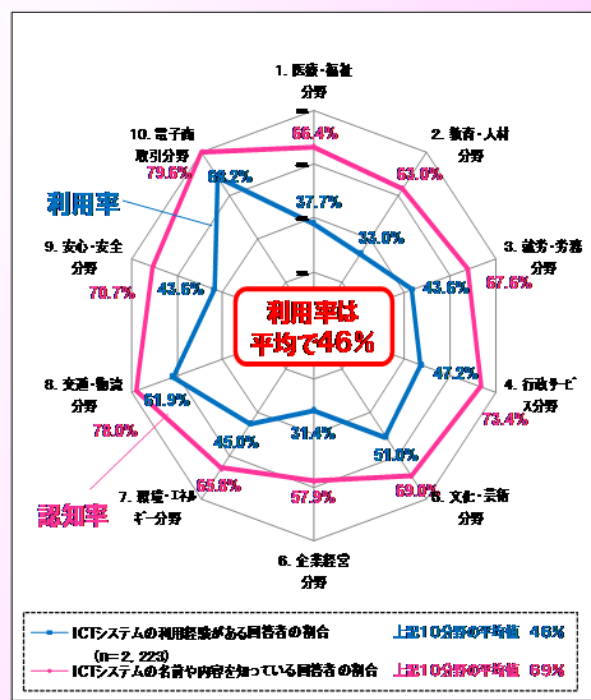


【出典】総務省調査(2008年3月公表)

## 利活用はテコ入れが必要

✓ICTシステムの利用率は平均で46%。特に、企業経営、教育・人材、医療・福祉、就労・労務、安心・安全等が低調。

ICTシステムの利用率(生活者調査)

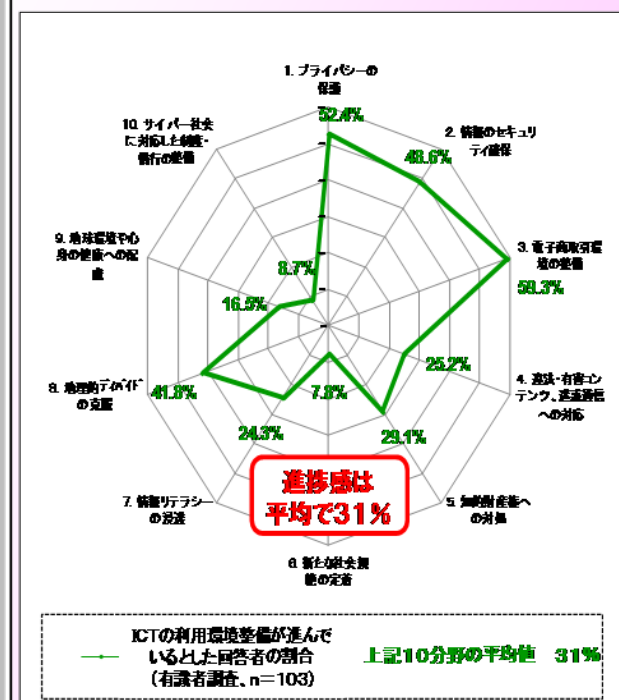


【出典】総務省調査(2008年6月公表、インターネット利用者を対象)

## 安心・安全利用の面に課題

✓ ICT利用への安心感は31%にとどまり、サイバー社会に対応した制度、慣行、社会規範等の面で不安感が大。リテラシーの向上だけでは不十分と評価。

ICTの利用環境整備に対する進捗感(有識者調査)



【出典】総務省調査(2008年6月公表、ICT分野の有識者を対象)

- グローバル競争が進展する中での我が国のプレゼンス確保
  - ・ 国際競争力がある産業、技術、人材等の育成
  - ・ 環境問題、資源問題、食糧不足等の地球的課題等への貢献
- 持続的発展を可能とする社会・経済システムの構築
  - ・ 人口減少、少子高齢化に対応した雇用、医療、教育等のシステムの見直し
  - ・ 新たなビジネスモデル(次世代の成長産業)の創出
  - ・ 地方の再生

こうした課題解決に向けて

環境 教育 雇用 医療 エネルギー 文化 交通 行政・・・等

ICTの利活用（社会経済活動の効率化・高付加価値化）の推進

需要(課題)先行型のICT利活用  
と付加価値の創造

各産業のインフラ的な役割を担うICTの機能向上

ICTファンダメンタルズ<sup>(※)</sup>の強化  
(※)日本の強みを活かした中期的な製品・サービス開発力

国境を越えた  
知識情報社会への移行

ユビキタスネット社会  
(いつでも、どこでも、何でも、誰でもネットワークにつながる)

ネット社会における  
消費者主権の確立

消費者

## ICTファンダメンタルズ<sup>(注)</sup>の強化 (注)日本の強みを活かした中期的な製品・サービス開発力

- 中長期的に我が国の強みとなる技術の見極めの必要性
- グローバル展開可能な製品・サービス開発力の強化の必要性
- ☞ 今後5～10年程度先に実用化・普及が見込まれる技術の中で、特に我が国が優位性を持つ技術開発の加速化策の検討 等

## 国境を越えた 知識情報社会への移行

- インターネットを活用した米国発の新事業の急速な台頭
- ネットの特性を活かした世界規模でスケールメリットを活かした事業展開
- ☞ インターネット事業の新潮流を踏まえた新事業の創出を図るための環境整備の在り方に関する検討
- ☞ 国内法規のみで対応し切れない政策課題に係る国際連携の在り方の検討 等

## 需要(課題)先行型のICT利活用 と付加価値の創造

- 放送デジタル化やブロードバンド基盤整備の完了
- 大量の取引がネットワークを介して行われる時代の到来
- 供給側の理屈でなく、需要(利用)側からみたICT利活用促進の必要性
- ☞ 我が国が抱える構造的課題について、特にICTの実利用シーンに即した利活用を図るためのソフトやノウハウの蓄積・共有化の促進策の検討
- ☞ コンテンツやアプリケーションの流通促進策の検討
- ☞ ICT利活用による地域活性化策の検討 等

## ネット社会における 消費者主権の確立

- 消費者(特に高齢者)にとって使い勝手のよい機器・サービスの必要性
- ネット上の社会経済活動の比重の高まりに対応した新たな「消費者主権」確立のための社会ルールの必要性
- ☞ 消費者保護のための情報提供システム、事後の救済システムなどの検討
- ☞ ネット利用面での「安心・安全」「信頼性」「堅牢性」などを実現するための環境整備の在り方の検討 等

